



Ray Klingensmith

レイ・クリンギンスミス
2010-11年度 国際ロータリー会長



高砂

No. 1 4

Takasago Rotary Club

週報

クラブ会長方針

ロータリーの優しさと思いやりを地域へ

- ①高砂ロータリークラブの歴史と伝統を学ぼう
- ②職業奉仕と親睦の実践
- ③友愛奉仕基金の主旨を再確認
- ④ロータリー活動を広報し、地域に広めよう

例会記録 (2010. 10. 15 (金)) 通算2,822回

◆開会

◆唱歌

ロータリーソング (我等の生業)

◆「四つのテスト」唱和

◆来訪ロータリアン

(10/8) 姫路南R.C 安達 龍司会員	姫路南R.C 高谷 孝会員
姫路南R.C 坂元 宣之会員	姫路南R.C 因藤 伸二会員
姫路南R.C 大西 達之会員	相生R.C 前田 昌章会員
姫路南R.C 鳶 明憲会員	高砂青松R.C 京谷 慎平会員
姫路南R.C 内藤 浩一会員	高砂青松R.C 田水 敬雄会員
(10/15) 大阪東R.C 入船 禎三会員	

◆プログラム予定

10月22日 (金)	10月29日 (金)	11月5日 (金)	11月12日 (金)
卓話 米山奨学生 黄娜實様	卓話 「四つのテスト」 歌唱指導 坂牛八州会員	卓話 中嶋邦弘様	卓話 音楽療法 退職後の生き甲斐 安元邦夫様

◆出席報告

本日 10月15日 会員数49名 出席者 36名 出席率78.26%
前々回 10月 3日 (9/24からの変更分)
会員数49名 修正出席者41名 出席率100%修正

◆MAKE-UP

妹尾 敏昭会員	高砂青松R.C	10月13日
中野 哲郎会員	高砂青松R.C	10月13日
井本 雅也会員	高砂青松R.C	10月13日
西田 秀雄会員	e-CLUB	10月14日
覚野 成広会員	e-CLUB	10月14日
尾上 喜秀会員	e-CLUB	10月 7日
佐野 敏晴会員	e-CLUB	10月 5日
寺崎 道雄会員	e-CLUB	10月 5日
脇谷 政孝会員	WCSワークショップ	9月11日
坂井 智代会員	新世代危機管理についての研究会	10月2日
永野 力会員	感謝のつどい	6月27日

◆委員会報告

○親睦活動委員会

10月3日「秋の家族移動例会」ご参加お礼申し上げます。
丸山会員が撮られた写真は来週には、お見せ出来ると思います。

○職業奉仕委員会

10月29日は、播磨交通研修センターでの例会予定でしたが11月26日に変更となりました。
29日は坂牛会員より「四つのテスト」の歌唱指導を予定しています。

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

山本 広志会員……本当にお久しぶりに卓話をさせていただきます。宜しくお願い致します。
信原 智彦会長……結婚祝いを頂きまして。
濱尾 繁会員……結婚祝いを頂きまして。
加茂 良平会員……結婚祝いを頂きまして。
尾上 喜秀会員……出席100%の祝を頂きまして。
坂井 智代会員……主人の誕生祝を頂きまして。
荒川 俊雄会員……出席100%の祝を頂きまして。
誕生祝を頂きまして。
家内の誕生祝を頂きまして。

早退2名

◆幹事報告（2,822回）

- ◎今回と次回の例会時、「パキスタン洪水復興基金」の募金箱を回しますので、ご協力をお願いいたします。
- ◎10月2日(土)「新世代危機管理問題に関する研究会」に信原会長、坂井委員長と共に参加してまいりました。「危機管理規定」や「危機管理マニュアル」についてあらためてご紹介の機会を持つ必要を感じました。
- ◎ガバナー事務所より「クラブ奉仕セミナー」および「インターアクト次期リーダー講習会」のお知らせが届いております。
- ◎久野ガバナーエレクト事務所より事務所開設のお知らせが届いております。
- ◎米山記念奨学会より「ハイライトよねやま128号」および「ホームページへの駐日韓国大使インタビュー映像掲載について」、「普通寄付金分申告用領収書の発行について」のお知らせが届いております。
- ◎あすなろ学園より、機関誌「positive vol.3」が届いております。
- ◎高砂市国際交流協会より、「国際交流通信10月号」および「国際交流バーベキュー」のご案内が届いております
- ◎口と足で描く芸術家協会より、作品による絵葉書やカードの購入についてご案内が届いております。
- ◎明石南R.Cより週報および11月例会プログラムが届いております。
- ◎ポリオプラスの募金のための「ニコニコ用」封筒を配布しておりますが「2億ドルのチャレンジ」の主旨ご理解いただき、ご協力をお願いします。

※例会変更のお知らせ

- ◎明石西R.C 11月18日(木)→20日(土) 東播第1グループIM 於：舞子ビラ
- 12月16日(木)→18日(土) クリスマス家族会 於：舞子ビラ
- 12月23日(木) 祝日による休会
- 12月30日(木) 休会〔定款第6条第1節(C)〕

◆会長の時間

前回の話の続きで、高砂町の路地を生かしたイベントを高砂市観光協会会長の西中さんに相談したところ、大変この話に乗っていただいて、観光協会で実行委員会を立ち上げようということになりました。委員に覚野さん、大村さん、籠谷さんも加わっていただき、実行委員会を開催することになりました。私の構想は路地に提灯等明かりで飾り、それぞれ個性が生かせたらと思いました。今のローソクを並べて火を使うという発想は危険だと思い、当初は電球を並べてと提案をし

たら、覚野さんから何千個の電池を交換するのは不可能だと言われました。たしかに、私もそこまでは考えておりませんでした。委員の中からコップにローソクを入れて灯すという提案がありましたが、ガラスが割れたら大変、危険ということでこれも採用がされませ



信原智彦会長

んでした。また、丁度その時期に、高砂商工会議所が県の景観形成建造物の指定を受けこのイベントに絡めてライトアップをしようと、西中さん、覚野さんの提案があり構想が膨らんできました。路地の明かりについては、覚野さんにいろいろ資料を集めてもらい岡山にも視察に行かれ、提案をしてもらいました。ある日急に、覚野さんが奈良で「燈花会」というイベントがあるから行こうといわれ、都合がつかないなら、一人でも行くといわれました。一人で行ってもらうわけにもいかず、西中、大村、私と同行させてもらいました。東大寺、興福寺、若草山一面に灯されたローソク群を見たとき、これは、絶対に安全だと確信しました。世界遺産の周りに何万ものローソクが灯されているのです。奈良から直接、ローソクとカップを取り寄せ現在の形になりました。委員会を重ねていくうちに、ジャズの提案、三菱製紙さんの魚町クラブ、三連蔵のライトアップ、銀座商店街の賑わい等、様々な提案が出され、「港高砂堀川まつり」が開催されました。各種団体に協力をお願いしましたが、なかなか理解してもらえず、観光協会独自の事業として「高砂港堀川まつり」を開催いたしました。この2日間は台風の影響にも関わらず、約1万人の来場者があり、盛況に終わりました。翌年の「高砂万灯祭」には商工会議所、高砂市も主催に加わっていただき、高砂町の自治会、カネカさん、各種団体も全面的に協力をいただき、高砂市の一大イベントになりつつあります。私が当初目指した形が実現してきました。町の活性化には町衆、つまり住民の町に対する愛着が不可欠です。道産子、江戸っ子、浪速っ子、神戸っ子、そして高砂っ子、高砂の人には後ろを向かず前を見て町と真正面に向かい合っていただきたいと思います。

◆本日のプログラム

卓話「職業奉仕について」
山本広志会員



山本広志職業奉仕委員長



